



南区は どんなまち？

1 南区で過去に起こった災害

【風水害】

伊勢湾台風

1959(昭和34)年9月26日に紀伊半島に上陸した、極めて大型で強力な台風。河川の増水と高潮が重なり多数の堤防が決壊し、南区における死者・行方不明者は1,417名、全半壊・流出家屋は25,359戸と、極めて甚大な被害をもたらしました。

貯木場の木材が流出し、多くの被害が発生した。



10月3日の様子。台風から一週間経っても浸水が続いていた。

東海豪雨

2000(平成12)年9月11日から12日にかけて東海地方を襲った集中豪雨。南区では床上浸水が1,974棟、床下浸水が5,389棟という多大な被害が発生しました。



出典:天白川水系河川整備計画(愛知県)

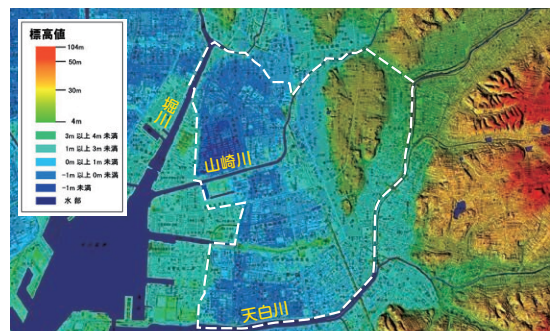
2 南区の災害リスク

南区は、西から堀川・山崎川・天白川の三河川に挟まれた立地となっており、区域の南部から西部にかけては浅い海を干拓してできた低地が広がっているため、洪水や高潮による浸水被害や、地震による津波や液状化の被害が懸念されます。

詳しくは、各ハザードマップを確認しましょう！



南区のデジタル標高地形図



出典:国土地理院のデジタル標高地形図に加筆

風水害

(発生頻度は低いものの想定し得る最大規模)

洪水	最大浸水深5.0m～10.0m未満
内水氾濫	最大浸水深3.0m～5.0m未満
高潮	最大浸水深5.0m～10.0m未満



地震(南海トラフ巨大地震)

(あらゆる可能性を考慮した災害クラス)

地震の揺れ	最大で震度7
液状化可能性	大
津波	最大浸水深2.0m～3.0m未満
死者	1,400名



3 南区で行われている災害対策

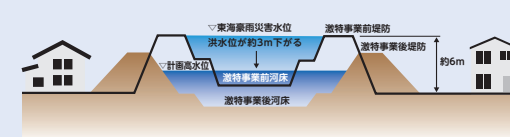
◎東海豪雨を機に行われた雨水対策

※それぞれの対策の詳細について、下記二次元コードからご確認いただけます。

天白川激特事業(河川激甚災害対策特別緊急事業)

天白川の千鳥橋(南区)付近から、野中橋(瑞穂区)付近までの区間において川幅を広げたり、川底を削り掘ることなどで、洪水被害の軽減を図りました。

※川幅を広げたのは、大慶橋から野中橋付近の区間で、大慶橋の下流は川底を削り掘ったのみ。



出典:天白川水系河川整備計画

▼天白川の整備



緊急雨水整備事業

東海豪雨で著しく被害を受けた地域を対象に、原則1時間60mmの降雨に対応する施設整備を実施しました。

〈南区内での対策〉

整備した雨水貯留施設: 5施設

増強したポンプ所: 6施設



出典:名古屋市上下水道局

▼緊急雨水整備事業



◎南海トラフ地震に備えた地震対策

地震により、液状化して堤防が沈下することを抑制するための地震対策を山崎川・天白川で実施しています。



出典:名古屋市南土木事務所

▼山崎川の整備



▼天白川の地震・津波対策



4 災害に強いまちをめざして



防災に熱心なまち、南区

南区では、学区や町内会などにおいて、大規模災害を想定した安否確認訓練や避難訓練、小学校での避難所開設運営訓練、防災について幅広く学ぶ講習会など、防災に関するイベントがたくさん開かれています。お住まいの地域の防災活動に参加してみましょう。

南図書館 伊勢湾台風資料室



災害の記憶を未来につなぐ

南図書館には市内図書館で唯一の「伊勢湾台風資料室」があり、伊勢湾台風について調べることができます。また、区役所では小学生向けに「南区と伊勢湾台風」を作成し、災害の記憶を風化させないよう次世代への継承に努めています。

小学生向け教材



南区地域防災マップ(地震編)



南区公式ウェブサイトで閲覧できる防災マップ

南区地域防災マップ(地震編)は、誰でも自由に閲覧できるインターネット上のマップシステムです。自由に印刷もできるので、避難ルートの確認や訓練にご活用ください！

